

## 日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究

### 1. 研究の対象

2013年1月から2020年12月31日までに当院で婦人科悪性腫瘍（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌・卵管癌・腹膜癌など）に対して治療を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

本研究は、高知大学医学部産科婦人科をはじめ、日本産科婦人科学会会員が所属する施設で多施設に行われている臨床研究です。

目的は、1) わが国における婦人科癌の進行期・病理学的分類、2) 診断・治療の実態、3) 治療成績（5年生存率）、4) 登録罹患数や治療指標などの年次推移、5) これらの研究成果を患者や社会が利用しやすい情報として提供する方法等を検討することです。

また、登録情報を活用して国際比較研究を行い、わが国の婦人科癌及び婦人科癌医療の特徴と海外との共通点・相違点等を明らかにしてゆくことは従来からも行われてきましたが、今後ますますその必要性・重要度は増大していくものと考えられます。

当院において子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍と病理学的に診断をされた方を対象として、診療録より年齢、術前化学療法の有無、進行期分類、組織診断、治療開始年月日、治療法（治療、補助療法等）を抽出し、登録を行います。また、3年後、5年後に予後報告として、治療後の健否および最終生存確認年月日の登録を行います。研究対象として年間約100名程度の患者の皆様の診療録および検査の情報を利用させていただく予定です。

研究期間：平成25年3月1日～平成32年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、術前化学療法の有無、進行期分類、組織診断、治療開始年月日、治療法（治療、補助療法等）等

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当施設の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

研究代表： 日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 青木 陽一

日本産科婦人科学会に所属する医師のいる施設で「前年、前々年における浸潤癌治療数が、子宮頸癌 10 例、子宮体癌 5 例、卵巣腫瘍 5 例のいずれかを満たしている」施設が対象となっています。詳しくは日本産科婦人科学会ホームページをご確認ください。

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル 4F

公益社団法人日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会 <https://jsgo.or.jp/>

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部産科婦人科学 牛若 昂志

電話：088-880-2381

研究責任者：

高知大学医学部産科婦人科学 前田 長正

研究代表者：

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 青木 陽一